



野生の象の群れ

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 44 号 (H27.7.12)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



はじめに 平成 27 年も 7 月となりました。長雨の影響や沖縄を襲った台風等皆様の地域ではいかがだったでしょうか？

ザンビアでは雨期に雨が少なくダムの水が少なくなったため、首都ルサカでも送電制限が実施されているそうです。これから冬で、高地であることもありセーターが必要とのことです。

今年も残り半年を切りました。良い出来事が沢山ありますようにお祈りします。

経過報告（27 年 6 月以降）

- 前回のニュースでご報告していましたザンビアでの NGO 登録が、6 月 11 日開催の審査会で無事に承認されました。山本ひとみさんのご尽力のおかげです。
- その NGO 登録を受けて、すぐに山元香代子先生のザンビアでの就労ビザの延長手続きを開始し、6 月 24 日に、入国管理局のサイン入りのレシートがもらいました。これで引き続き活動に従事できます。
- 山元香代子先生については、7 月当初に日本に帰国され、10 月末まで民間病院非常勤医師として勤務される予定です。
- 7 月 25 日（土）、宮崎県立図書館で NPO 法人みやざき自然塾主催の第 19 回コロキウムで、約 2 時間、ザンビアの辺地医療を支援する会の活動報告をさせていただきます。その時の様子は後日ご報告します。
- 以前ご報告とお願いをしていました、寄附金付き自動販売機の設置ですが、これまでに宮崎市夜間急病センター小児科及び串間市民病院に設置させていただくことができました。宮崎郡市医師会の先生方、特に小児科の先生方、串間市民病院の皆様、ご支援に感謝申し上げます。また今後とも設置にご協力いただける際は、日高までご連絡ください。よろしくお願いします。

みやざき自然塾 第 19 回コロキウム
主催：NPO 法人 みやざき自然塾
(Collègue Nature in Miyazaki)
共催：宮崎県立図書館（ひとりの図書館）
後援：宮崎県国際交流協会・宮崎市国際交流協会
日 時：平成 27 年 7 月 25 日 午後 2 時～4 時
会 場：宮崎県立図書館 2 階 研修ホール
講演：認定 NPO 法人「ザンビアの辺地医療を支援する会」の活動について
演者：山元香代子氏（講演）× 日高良雄氏（支援する会）代表者



災害時に自動で利用できます

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

・認定NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会（事業年度は1月から12月）では、賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附のご協力をお願いしています。

入金を確認しました際には、日高からその旨メール（又は郵便）を差し上げますとともに、後日、税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。これまでにご寄附いただいた方には証明書を送付しておりますので、もし届いていない方はご連絡ください（info@ormz.or.jp）。

また、郵ちょ銀行以外の銀行からWEBで振り込まれる際は、できましたら付加情報として住所、氏名（漢字）を加えていただきますようお願いします。何もしないとカタカナの氏名のみ通知されるため上記の対応ができません。どうぞよろしくお願いします。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号番号 01720-9-126351
加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会
★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351
加入者名 : NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称（全角）：トクヒ ザンビアノヘンチリヨウオシエンスルカイ（注：ヲ→オ）

ザンビア活動報告（山元香代子先生から）

みなさま、いかがお過ごしでしょうか。梅雨の長雨で鹿児島など雨がひどかったようですが、みなさまのところでは大丈夫でしたでしょうか。

6月後半の2週間の活動報告をします。

6月17日 ニャンカンガ巡回診療

患者数 113名 マラリア 37名 上気道炎(かぜ) 44名 下痢 16名 結膜炎 4名 皮膚疾患 5名他

前回と比べて、患者数はあまり多くなく、マラリア患者数も減ってきています。私たちが到着した時には、2-3人の女性のコミュニティボランティアが待っていただけで、男性のボランティアは、コミュニティヘルスワーカー1人を除いて誰もいませんでした。器材やカルテの入った重いコンテナの搬入の手伝いも女性だけです。ニャンカンガは、活動を始めて1年近くたっていますが、コミュニティの協力が十分ではありません。そのために、このような状況が続くようだと、巡回診療の継続はむずかしいことを手厳しい説明しました。決まったボランティアが決まった役割を分担するのではなく、受付をする人、体重を計ったりする人などが一定していません。体重 10.5kg、10.8kg、10.6kg とやたら多く、どうも目の前にいる子供の体重と違うようです。すると、15kg、18kg、16kg といった具合でした。また、受付番号も、1099番から急に2000番に飛んでいます。ひとつひとつ説明していくなくてはいけません。どうしても辺地ですので、小学校を卒業していない人も多く、生まれた年は覚えていませんが、それから自分の年齢を計算できない若い人も多く見かけます。

それでも帰る間際に、巡回診療を行うための建物の建設が始まっている所に案内されて、とてもうれしかったです。乾季の間に何とかレンガを積み上げ、屋根やドアを付けられたらしいなと思いました。



6月18日 井戸掘り現場の視察

15日にムワンタヤでの現場確認の後、中国人の経営している井戸掘り業者チャイナガンスと打ち合わせをして、18日に中国人のエンジニアと共に、ムワンタヤ、ルアノの井戸掘り現場の視察に行きました。ムワンタヤ2か所は全く問題ありませんでしたが、ルアノは道路状況が悪く、不満たらたらで、彼らのトラックが入るまでに道路の整備をするからと、一生懸命になだめて納得してもらいました。

最後、現地でタイヤがパンクし修理が必要でした。

19日には5基の井戸掘りの契約を済ませました。

6月23日 ムワンタヤの井戸掘りの視察

21日にはムワンタヤにトラックが入り、22日から掘削が始まり、その日のうちに水が出たとの連絡を受け、23日に見に行きました。水が出た時には大勢の人々が集まり、ダンスをしたりとたいへんな盛り上がりだったそうです。2か所目の掘削も始まっていました。



井戸掘りの様子 ムワンタヤ

6月24日 ルアノ巡回診療

患者数64名 マラリア20名 上気道炎(かぜ)17名 下痢7名 結膜炎4名 皮膚疾患4名 他 びっくりするほど患者数が少なく、マラリア患者数も減っていますが、マラリア検査の陽性率は20/36(55.6%)と高めでした。患者数が少ないのは、トウモロコシの収穫の時期でもありますが、コミュニティヘルスワーカーたちが、多くの患者を診てくれているからだと考えられます。生後1か月の先天性梅毒の赤ちゃんがいて、一度ヘルスセンターに搬送し、治療を受けているのですが、発疹がからだ全体に広がっていました。再度ヘルスセンターに行くことを勧めたのですが拒否され、ペニシリソ系の抗生物質を2週間分処方し、2週間後必ず連れてくるように説明しました。今後の方針については、準医師のムレタさんと相談し、きちんと経過を追うこととしました。

6月25日、26日

運転手のスルさんと、コーディネーターのシバンダさん2人が、井戸掘りのトラックの道案内をして、ルアノに入りました。今回ルアノでは3基掘る計画ですが、前回道路状況が悪く、トラックの入れなかったトンプエまで2人に行ってもらい、状況を確認しました。地区の人々が大勢出て、道路脇の木を切ったり、草を刈ったりして、道幅を拡げていたそうです。トンプエまで川を2つほど越えなくてはいけないのですが、水量はあまりないのですが、段差がきついので、その整備にもう2-3日かかるとのことでした。今回は間に合いそうです。26日には、山本ひとみさんに完成したムワンタヤの井戸を確認に行っていただきました。水質検査結果ができるまでは、井戸は鎖が巻かれ、使用することはできません。



・私は29日に帰国します。最後まで、就労ビザの申請、薬剤の追加、井戸掘りの契約、申し送りなどで忙しくしていますが、いない間は、現地スタッフ、山本さんのお世話になります。よろしくお願ひ申し上げます。みなさま、どうぞお元気でお過ごし下さい。

ザンビア活動報告（山本ひとみ様から）

お疲れさまです。今日は曇天で太陽が隠れていますが、風もあるため午後になっても肌寒いです。皆セーターを着て寒そうに歩いています。さらにマフラーを巻いている人も見かけます。そんな中、半袖の人もいて…不思議です。では、巡回診療の報告です。

7月1日 ムワンタヤ巡回診療

- ・配車：1台 Mr. Sulu（帰宅 20:30） 同行者：Mr. Muleta, Mr. Stunbeko, Mrs. Chibulika, Mr. Sibanda,
- ・患者数：91名 おもな症状：風邪（咳・鼻水）、目の痛み（主にこども）、マラリア陽性 6名（うち、こども一人重症）
- ・患者数が少ないのは、みなが健康だから!?（これを信じたい）それとも、寒くて家に引きこもり!?どちらでしょう…。
- ・7月6日、7日と祝日のため、7月3日に7月8日ルアノ地区分の準備をします。
- ④車両管理 : バルーン（1399）のテールランプが切れたため、購入し交換しました。

7月8日 ルアノ巡回診療

- ・配車：1台（運転手：Mr. Sulu） 同行者：Mr. Muleta, Ms. Elizabeth, Mr. Sibanda, Mr. Mwanza
(Mrs. Chibulika はお葬式のため都合がつかず、休暇中の Mr. Mwanza が臨時同行)
- ・患者数：約 100 名 おもな症状：咳・鼻水、下痢、目の痛み、マラリア（陽性 約 30 名、うちこども 6 名重症） 全体的な患者数は少ないですが、まだマラリア患者がいます。

⑤井戸 Tombwe, Mainga は予定どおりの場所で掘削、水が出ました。Shelleni は 3 か所掘ってみたものの水が出ず、4 か所目となった Mango Tree の近くで水が出たと、井戸の掘削を依頼している会社・China Gansu より連絡がありました。

来週、水とポンプや周辺の確認に現地に行こうかと考えています。

- ・私事ですが、7・8 日は祝日で 4 連休だったので、カフエ国立公園に行ってきました。
ヒョウやライオンに会えました。ハリネズミ、ブッシュバッカなど他の国立公園であまり見たことのない動物を見ることもでき、大満足の休日となりました。

今後ともどうぞご支援のほどよろしくお願いします